

## 令和5年度 小田原高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	過去の事例や職員啓発点検資料等を活用し、定期的に職場研修を実施した。研修を通して職員の不祥事防止に対する意識を高め、公務員としての自覚とモラルの向上、法令遵守の徹底を図った。また、風通しの良い職場環境づくりを進め同僚性の向上に努めた。
(2) わいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為の発生を未然に防止する	ハラスメントに対する相談窓口を周知するとともに、人権研修会を実施した。また、県指定の動画を活用した不祥事防止研修を実施し振り返りシートを提出させる等、不祥事について「自分事」として考える機会を増やし意識啓発を深めた。また、新採用教員や教育実習生に対して別途研修会を設け注意喚起を促した。
(3) 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	スクールカウンセラーを講師に招いて職員研修会を実施した。講師自らの過去の相談内容や学校で起こった過去の事例等を基に、生徒の人権を尊重した指導について理解を深めるとともに、体罰、不適切指導未然防止について職員の意識の向上を図った。
(4) 入学者選抜の適正な実施	入学者選抜におけるミスの防止	Web出願をはじめ、入学者選抜の実施方法の変更に伴って実施要項や各種マニュアルを変更・改善するとともに研修会を実施し、職員間の情報共有・共通理解を図ることで事故防止の徹底を図った。
(5) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	点検体制を再確認し、定めたマニュアルに基づき確実に業務を行う。	成績点検日を年2回設け、それぞれ職員全員で組織的に成績処理業務を行った。各教科及び教科横断的に点検体制を整えるとともに、マニュアル通りに業務を遂行し、事故防止を徹底した。
(6) 試験の適切な実施、管理の徹底化	試験問題の作問ミスの防止、適切な実施、管理の徹底を図る。	定期試験前後の作問・実施・処理期間には、それぞれマニュアルに記載された注意点の確認を徹底するとともに、期間中は適宜注意喚起を行った。特に、答案用紙の回収・返却については管理を徹底した。

<p>(7) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）</p>	<p>個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流失を未然に防止する。</p>	<p>個人情報の適切な取扱いについては、研修会で意識の向上を図るとともに日常的に注意喚起することで職員の意識啓発を図った。また、特に新採用教員等に対し、原則として個人情報の持ち出しは禁止であること、やむを得ず持ち出しが必要な場合は「個人情報校外持ち出し許可願」により校長の承認を得ること、個人情報の収集にあたっては、生徒本人及び保護者から承諾を得ること等、基本的事項について周知徹底を図った。</p>
--	--	--

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

- ・定期的に事故・不祥事防止会議及び不祥事防止研修会を実施するとともに朝の打合せなどにおいて日常的に教職員への意識啓発を行った。
- ・専門家による「子どもの人権」に係る研修会等を実施し、教職員の生徒への人権を尊重した適切な指導について理解を深めさせ、教職員一人ひとりの意識向上を図った。
- ・成績処理について、今年度は成績点検日を年に2日設定するなど、組織的な成績処理及び点検体制を整えた。次年度においても、校内マニュアルに基づいた組織的な成績処理・点検体制を継続し、事故・不祥事防止の更なる徹底を図る。
- ・令和6年度の重点目標を「わいせつ・セクハラ行為の防止」、「成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止」、「個人情報等の管理、情報セキュリティ対策」とする。次年度も引き続き、全職員で各種校内マニュアルの活用及び教職員相互の声掛けの徹底を図り、職員の同僚性を向上させ、不祥事防止への意識を高めていく。また、在校生や保護者をはじめ、県民の信頼を損ねることのないよう、職員一同、事故・不祥事の未然防止に努めていく所存である。